

# スギ等森林の 有効活用支援事業



## 森の笠地蔵プロジェクト2022

岩手県遠野市



### 事業概要

間伐材の薪利用の普及拡大と、薪を自力で調達するのが困難となっている一人暮らしの高齢者の支援を目的とする。主な活動は以下のとおり。①森林ボランティアと間伐・造材・集材・搬出・薪づくり及び薪棚整備、②自力で薪調達困難な高齢者の調査（遠野市社会福祉協議会と協力して行う）、③自力で薪調達困難な高齢者の家に薪を無料で配達、④ひきこもり者を調査し薪づくりの活動へ参加を促す、⑤マスコミやインターネットで情報発信。

### 事業成果

本事業についての認知度も高まり、薪づくりに参加する市民も増えてきている。また、新たな試みとして、ひきこもり者や不登校中学生を対象に森林整備や薪づくりを体験させるために、社会福祉協議会や不登校の親の会などの関

係団体と協議を重ね、森林整備と資源利用について、福祉分野で更にネットワークが広がってきている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・遠野市内でも「ひきこもり」の人はかなりいるので、できれば就労に結びつけられるところまで、この活動が展開できるようになってほしい。(遠野市社会福祉協議会職員 40代)

### 参加者の声

- ・自分が間伐した木が人の役に立つので、やりがいを感じる。(森林ボランティア 50代男性)
- ・みんなで薪割りをするので、一人より楽しいです。(薪づくり参加者 40代男性)
- ・薪だけでなく、煙突掃除までしてもらって助かります。(80代男性)



間伐体験会(枝払い)



薪づくり(19名参加)



薪づくり会での集合写真



高齢者宅へ薪を配達

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：30ha  
 森林資源活用(薪づくり)：12回  
 森林資源活用(薪配達)：18回(軽トラ41台)

#### 参加者数

県内：817人  
 計：817人

## わたしたちの里山保全活動

千葉県市原市



### 事業概要

森の様々な生き物を守る、地球温暖化を防ぐなど多様な機能維持に資するため、高齢化で手入れが行き届かず、荒廃した里山林の整備を行うことを目的とする。主な活動内容は以下のとおり。①ヒノキの間伐を行い優良木として育成。②間伐したヒノキは、伝統的手掘り井戸「上総掘り」のヤグラ材として提供し、また、子どもの居場所「プレーパーク」で使う縛材として利用。③2019年房総半島台風による倒木の伐採、玉切り等を行い、活動基地で使うマキを製作。④雑草を刈払いし一般市民によるコナラの苗木を植栽。⑤野外教育団体の森林環境学習。

### 事業成果

・ヒノキの間伐したことで陽が入る林になり、また、間伐材が利活用され、森林所有者及び活用先から感謝の言葉があった。

- ・台風で被害を受けた倒木の片付けを行うことで、作業環境の改善、良好な景観になった。
- ・小中学生にとって里山維持の大切さを実感できた貴重な体験になった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・活動地域の高齢化同様、私たち団体の高齢化も進んでおり、このままではいずれ活動が立ち行かなくなる。現在の平日活動に加えて、若い者の参加を促す週末活動を行う必要がある。(60代男性)

### 参加者の声

- ・間伐をしないと木は大きくなることが分かった。(小学6年生)
- ・自ら皮をむいたヒノキ丸太がヤグラ材として使われていてうれしかった。(小学5年生)



雑草木の刈払い作業



ヒノキ伐採作業



ヒノキの皮むき作業



薪づくり作業

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.6ha  
 植付本数：10本  
 下刈・除伐面積：0.6ha  
 間伐面積：0.2ha

#### 参加者数

県内：205人  
 計：205人

#### 樹種

コナラ



## 世田谷・川場上下流連携の森林活性化事業 第Ⅲ期

群馬県川場村



### 事業概要

放置されている群馬県川場村内の人工林（針葉樹林＝スギ・ヒノキ林）を下流域の世田谷区住民が地元の地権者等の村民と協力して整備することを目的とする。主な活動は次のとおり。①地元住民と協力したボサ刈り・枝打ち・間伐、②植林後の低木育成のための下刈り、③間伐材を燃料に、近くにある広葉樹や竹林・松林の整備で発生する竹と松を原料として炭焼き並びに地元で計画されているバイオマス利用への協力、④山間地散策路整備への材料提供・作業協力等による「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

### 事業成果

新たな間伐材利用方策として保養施設（世田谷区民健康村なかのビレジ）近傍の林間散策路整備に間伐材を提供するとともに、道普請も実施した。

地元特産物のリンゴの植え替えに伴う伐採木を炭焼き材として活用する試みが本格化した。また、広葉樹林の更新時期にあたる林地の間伐も行い、炭焼き利用の量が増大した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・村で推進しているバイオプロジェクトへの理解・協力を得られて感謝している。今後も積極的な関与をお願いしたい。（川場村村長）
- ・散策路づくりへの材料提供だけでなく、炭焼き技術の継承にも力を貸していただいている。今後の活動継続にも期待している。（世田谷区民健康村なかのビレジ所長）

### 参加者の声

- ・交流会中止等により外部からの参加なし



リンゴ園での下刈り作業



伐倒した広葉樹の枝払い・玉切り作業



広葉樹林の更新。材は炭材や道普請に活用



リンゴの植え替えに伴う伐採木も炭材に活用

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1.1ha  
 除伐面積：1.0ha  
 間伐面積：1.4ha  
 森林資源活用：炭焼き

#### 参加者数

県外：103人  
 計：103人

## みんなで集う多様で豊かな森づくり活動

東京都八王子市



### 事業概要

八王子市南浅川町梅ノ木平国有林、部分林、及び隣接民有林(約82ha)を対象に植樹等の森林整備を行うこと、作業フィールドや宿泊研修施設を活用して森林体験教育を行うことなどを活動目的とする。主な内容は、①過密になっているスギ・ヒノキ人工林の間伐と風倒被害木等の処理、②ツル切り、除伐、林床整理、植樹、歩道整備、③学校や企業、地域グループ、親子などを対象にした森林作業体験教育、④間伐材を利用した木製品の製作と福祉施設への寄贈などである。

### 事業成果

①天然林施業・刈出しや広葉樹の植樹を実施したことでスギ・ヒノキ人工林の混交林化が進んだ。②間伐・除伐等の作業を新規の森林で行ったことで、整備済み森林が拡大した。③親子などを対象に16回の森林作業体験を行い、森林

理解の増進を図った。④間伐材を活用して活動の拠点整備を実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・小学校5年生の授業として森林体験を行ったが、大自然を満喫でき、帰りのバスはみんな笑顔が絶えなかった。(小学校教諭)
- ・木材がどのように生産されるかを学ぶことができた。(高校教諭)

### 参加者の声

- ・山を良くするためには木を切ることも、その木を使うことも大事だ。(男性参加者)
- ・除伐した跡の林が見違えるように明るくなり気持ちが良かった。(女性参加者)
- ・植えた木の成長が楽しみだ、また会いに来たい。(小学5年生)



小学校の植樹体験



参加した子どもたちの集合写真



定例作業による除伐



間伐材を利用した木工体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
植付本数：130本  
間伐面積：0.8ha  
ツル切り除伐：1.6ha  
歩道整備：1.0km  
体験活動：16回

#### 参加者数

県内： 941人  
県外： 115人  
計：1,056人

#### 樹種

オニグルミ、トチノキ、ヤマグリ、コナラなど



## 市民参加による森林づくり「山と緑の協力隊」

長野県上松町、滋賀県多賀町



### 事業概要

学生や一般市民が森林整備を通じて自然環境への理解を深め、森林の持つ機能を知る機会になるような森林ボランティア活動を企画する。長野県赤沢休養林で2回、滋賀県多賀町の高取山で1回の合計3回の活動を企画し実施する。

赤沢では主に間伐・除伐を行う。高取山ではスギ苗の植栽と間伐や枝打ちを行う。地元山林組合の職員による森林教室も開催し、森林の持つ機能を学び、水源涵養を理解する機会につなげる。

### 事業成果

赤沢自然休養林では令和4年10月と令和5年6月に木曾ヒノキの成長のため除伐・間伐を実施した。

滋賀県多賀町では令和4年11月に実施。少花粉スギ苗200本の植栽を行った。滋賀県多賀町での活動は、今回初めて

植栽活動を実施した。これまで間伐・枝打ちといった保育管理に関わるものが中心だったが、少花粉スギの苗を植えることができ、参加者も森林の果たす役割や木材の循環などを体感できる機会に繋がった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽の活動を一緒にしてもらえて助かった。今後は維持管理などでもお手伝いいただけるとうれしく思う。(大滝山林組合・職員)

### 参加者の声

- ・ノコギリで木を伐る大変さとやりがいを感じた。木を伐ると空が開けて日光が入ってきた際にはとても達成感を感じることができた。
- ・実際に山の中で木を植えることで森林が循環する最初の部分を経験できて良かった。



間伐作業（長野県赤沢休養林）



間伐作業後の集合写真（長野県赤沢休養林）



植栽（滋賀県多賀町・高取山）



枝打ち（滋賀県多賀町・高取山）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.17ha  
植付本数：200本  
間伐面積：0.92ha

#### 参加者数

県内：17人  
県外：41人  
計：58人

#### 樹種

少花粉スギ

## 自伐型森林整備支援事業

愛知県豊橋市



### 事業概要

より安全な森林整備活動を実施するために、自伐型林業（山主自らが伐採し、出材する林業形態）を目指す小規模山林所有者や更に森林に関心のある一般市民を対象に高強度かつ軽量の牽引伐倒用具を展示・紹介し、併せてこれら用具を使用した間伐事業を実施する。また、伐倒木のできるだけ高い位置に牽引点を設置する必要があり、その方法の検証・実習を進める。

### 事業成果

高強度で軽量の牽引伐倒用具は、これまで使用してきたワイヤーウィンチと比べ大幅な軽量化に成功し、また、倍力システムを組むことで牽引作業の負担軽減につなげることができた。

牽引点設置についてはツリークライミング愛好家の発明品（アンコウフック）を利用することで、高さ10mまでなら

ば特段の技術習得等を要せずに容易に実施できることが検証された。この機材を導入することで、軽量の牽引伐倒用具とあわせ樹木伐採時の効率化と安全が図られた。

これらの成果により、高齢者や女性などにも森林整備に関わる可能性を大きく広げることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・豊橋市の森林整備・普及啓発活動、ボランティア活動の発展に協力いただいております。感謝しています。引き続き市との連携に期待しています。

### 参加者の声

- ・大変有意義な講習だった。もっと開催してほしい。（講習会参加者）
- ・このような装備品があることを知らなかった。安全な作業に繋がることを知った。（森林整備支援参加者）



間伐調査



間伐の実施



樹上作業用具の安全な使用方法研究会



器具を使って牽引点の設置を行う  
（樹上作業用具の安全な使用方法研究会）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：0.3ha  
森林整備普及啓発活動、森林間伐作業講座、自伐森林整備支援ほか

#### 参加者数

県内：84人  
計：84人



## 間伐整備活動で取組む三河湾の生態系の保全

愛知県安城市内、岡崎市市内、岡崎市桜形町私有林、豊田市県有林



### 事業概要

愛知県三河湾の約41%の干潟が失われた。栄養分と良質な砂を持続的に供給する森づくりを目的に、間伐整備に取り組む。

### 事業成果

本年度は、愛知県岡崎市の私有林を48回、豊田市羽布町県有林の間伐整備活動を1回実施し、2020年度から間伐作業に取り組んできた山林が2023年3月で終了し、2023年4月より、小栗山山林において、新たな間伐作業に取り組んだ。事業を円滑に進めるため情報収集や間伐材出荷のため、額田木の駅プロジェクト月例会に12回出席。募金活動は、会の総会と地域の13イベントに出展し実施できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・猛暑日の中でも、会では年間（週1回）を通して間伐活動

を実施している。熱中症対策として一部会員は空調服を使用しているが、参加者全員の熱中症対策が必要だ。（会員）

- ・間伐体験者に貸し出す「安全装備（ヘルメット・防振手袋・チャップスなど）」や「チェーンソー」が3名分しかなく、3名以上の体験希望者を受け入れられないことがある。貸し出し用の装備の充実が必要。（会員）

### 参加者の声

- ・環境保全の重要性やSDGsに関する知識や興味があった。間伐整備作業の現場を親子で体験できたことは大変良かった。（間伐体験者、50代主婦）
- ・間伐作業体験者のSNS等に上げられた感想や画像・動画を見て活動を知り、間伐体験に参加させていただいた。初めての体験ばかりで全てが新鮮だった。（間伐体験者、40代主婦）



伐倒



搬出



集合写真



積み木贈呈式

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈・除伐面積：0.78ha  
 間伐面積：5ha  
 森林資源活用：  
 間伐材36.43㎡、間伐材を原料とした積み木作り5.0㎡

#### 参加者数

県内：727人  
 計：727人



## 地域性苗木による花粉の少ない森林づくり

滋賀県高島市安曇川町



### 事業概要

台風被害のスギ林倒木地を整備し、花粉の少ない広葉樹の森づくりを目指す目的で、県内外から参加者を募り、植樹地の保全管理、新たな植樹地を拡大する。

### 事業成果

苗木の成長に応じて下刈りの方法など育樹活動の内容に変化が出てくるのは興味深かった。初めて草刈り鎌を握る大学生、普段土に触れることがない社会人等、様々な世代や職業の参加者が集まり、ともに作業をすることで森づくりへの興味関心が深まり、良い交流の場ともなっていた。継続的に活動に関わる参加者も増え、育樹活動の重要性を改めて皆が認識するとともに、愛着のもてる森づくりを続けていきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林に興味を持つきっかけとしてもボランティア作業と



様々な樹種を種まきして苗木をつくる



苗木の鉢上げ見学・体験の後。集合写真



植樹体験



植樹地の下刈り

いう入口はとても良いと思う。活動の趣旨を伝えるためには、参加者の目線に立って、基本的な森林の仕組みや樹木の生態について、簡潔に説明することが大事だ。(森林インストラクター会員)

- ・人工植林の跡地の活用については課題が多いが、もともとの植生に戻すという動きはもっとあっていいと思うし、このような森づくり活動が各地に広がっていくことを願う。(林業従事者)

### 参加者の声

- ・長いスパンで、タネから芽吹き、苗木となったものを植樹し、その後森になっていく様子を見守っていくことが、面白そうだと感じた。(30代女性)
- ・植樹することの意味や森林の現状について、現地で話を聞いて実感がわいた。植える樹木の特長など詳しい資料があればわかりやすかった。(60代男性)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.6ha  
 植付本数：200本  
 下刈面積：0.72ha  
 植樹地等保全管理：10回  
 イベント：3回

#### 参加者数

県内：36人  
 県外：40人  
 計：76人

#### 樹種

コナラ、クヌギ、カシ、トチ

## 災害に強く脱炭素社会に貢献する森林づくり

島根県大田市三瓶町



### 事業概要

国立公園内にある荒廃林(人工林)を少花粉スギ苗の植栽を通じて人と環境にやさしく、二酸化炭素吸収源としての森林へと再生することを目的とする。主な活動は以下のとおり。①2年に渡り、荒廃林を皆伐、②ボランティアによる下刈り、片付けの実施、③少花粉スギ苗の植栽、植栽は市民参加型で実施、④“森林と仲良く、そして未来に”をテーマに学習講演会の実施。

### 事業成果

ボランティアによる作業応援体制の継続が課題であったが、何とか定着化の目途がついた。ボランティアの方1名が、実行委員会に参加することとなった。また、植栽は市民や親子のイベントとして効果的で意義ある活動となった。少花粉スギ苗の植栽は大田市において初めてのことであった。

大田市域内で市民との協働でこのような活動を実施している団体は、極めて少ない。しかしながら、小さな当団体でも継続することで、確実に活動を広げることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ボランティアの方が、これだけ集まるのかとチョットびっくり。(林業従事者)
- ・皆伐から薪づくりまで、通して参加できる計画を考えてもらいたい。(林業従事者)

### 参加者の声

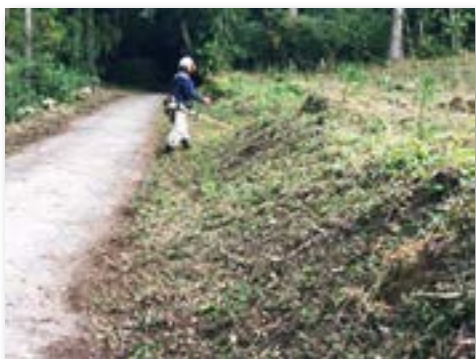
- ・チョット危険かなと思っていたが、安全だった。(50代男性)
- ・残材の薪割りイベントに参加したい。(40代男性)
- ・学習講演会が20名弱で寂しかった。島根県や大田市の森林の状況が聞け、大変勉強になった。(50代男性)



植栽イベント



植栽イベントの集合写真



進入路草刈中



前年度植栽エリアを下刈り中

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.5ha  
 植付本数：1,000本  
 皆伐・集材等面積：0.5ha  
 地拵え面積：0.5ha  
 下刈面積：0.5ha

#### 参加者数

県内：98人  
 計：98人

#### 樹種

少花粉スギ